

工事店さまへのお願い

この説明書は必ずお客様にお渡しください。

TOTO

EUDB308

食器洗い乾燥機専用分岐金具

TOTO製のシングルレバー式(台付タイプ)用

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工・取扱説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。また、ご使用のお客様の方で本施工・取扱説明書の「日ごろのお手入れと点検」をよくお読みいただき、大切に保管してください。



主な適用機種は
詳しくはTOTOホームページ
www.toto.co.jpをご参照
ください。

TKN32PB型・TKJ31CF3R型・TKJ31UF3R型・TKJ32PB型・TKJ33C3R型・TKJ33U3R型
TKHG31P型・TKHG32型・TKHG33型・TKHG38型・TKHG39型
TK52A型・TK52-1型・TK52-2型・TK53A型・TK53-1型・TK53-2型



施工に関する安全上の注意 (安全のために必ずお守りください)


取り付け前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。




- この説明書では商品を安全に正しく取り付けいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

表示	意味
 警告	この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、傷害または物的損害が発生する可能性があることを示しています。

- お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

 禁止	は、してはいけない「禁止」内容です。左図は、「分解禁止」を示します。	 必ず実行	は、必ず実行していただく「強制」内容です。左図は、「必ず実行」を示します。
--	------------------------------------	--	---------------------------------------



警告	
	必ず実行
水道メーターの止水栓またはバルブの開放は、必ず分岐金具と食器洗い乾燥機を給湯ホースで接続したあと行う 高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。	
分岐金具取り付け完了後、食器洗い乾燥機の試運転を行い、水栓本体と分岐金具との間から水漏れがないかよく確認する 家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。 高温の湯が噴き出しやけどをするおそれがあります。	

注意	
	禁止
凍結のおそれのある所への設置はしない 水漏れのおそれがあります。	
施工前後に水道メーターの止水栓またはバルブの開放状態のまま分岐金具、水栓金具などの分解、取り外しはしない 障害、物損、故障、水漏れなどのおそれがあります。	
水栓金具のカートリッジは落としたり、分解しない 取り付けができなくなったり、水漏れのおそれがあります。	
分岐金具の改造はしない 水漏れのおそれがあります。	
	分解禁止
分岐金具は絶対に分解しない 水漏れのおそれがあります。	
	必ず実行
分岐金具を取り付ける場合、必ず施工説明書で指示されている工具を使って取り付ける 指示されている工具以外で取り付けを行うと、傷を付けたり施工不良により水漏れのおそれがあります。	
カートリッジ押さえを取り外し、取り付けを行うときは水栓本体が回らないようにする 水栓内部の配管のねじれによる破損、水漏れのおそれがあります。	

給水接続への切替方法

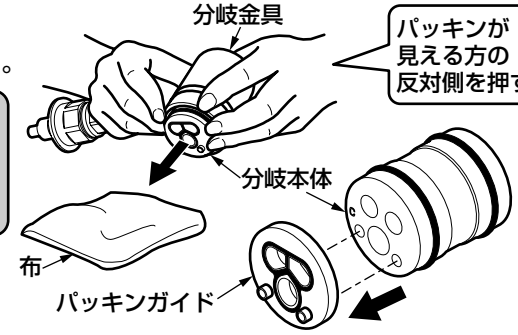
※給湯接続と比べて洗浄時間が長く、ランニングコストが高くなります。

- 工場出荷時は給湯接続になっています。

	禁止
部品の組み替え時に分岐金具やパッキンなどを傷つけない 水漏れのおそれがあります。	
	必ず実行
施工前に給湯機の取扱説明書を参照し、給湯温度の設定が可能であることを確認する 高温給湯タイプ(70℃以上でしか温度設定ができない)の電気温水器、ガス・石油給湯機を使用する場合には必ず給水接続に切り替える 食器洗い乾燥機の故障の原因となります。	
十分に注意して取り付け、部品の組み替え作業を行う 手などにけがをするおそれがあります。	

1 分岐本体部の取り出し

分岐金具から分岐本体部を押し出す。

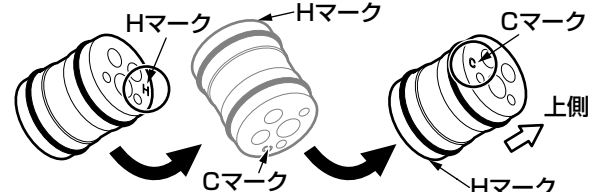


パッキンが見える方の反対側を押す

注 このときパッキンガイドも外れるため、パッキンガイドを軽く指でささえ下に布をして作業してください。


2 部品の組み替え

分岐本体を上下逆さまにする。
(※Cのマークがある方が上)



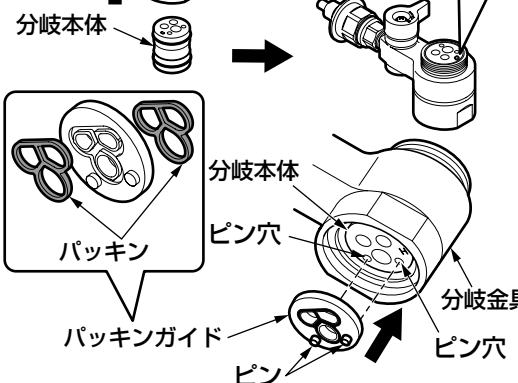
3 分岐本体部の組み込み

①上下逆さまにした分岐本体を分岐金具に押し込み、分岐本体と分岐金具を同じ高さにそろえる。




注 このとき分岐本体の上面にCのマークがあることを確認してください。

②分岐本体にあいた2カ所のピン穴とパッキンガイドの2本のピンを合わせ、パッキンガイドを分岐金具に押し込む。



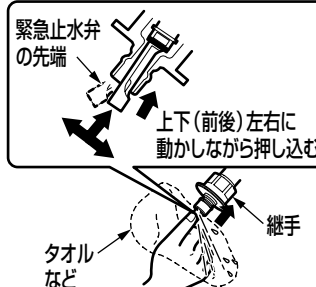
注 ●パッキンガイドにパッキン(2個)がはめ込まれていることを確認してください。
水漏れのおそれがあります。
●パッキンガイドを確実に押し込んでください。
落下するおそれがあります。

日ごろのお手入れと点検

	必ず実行
定期的に配管のまわり(ホース接続など)を点検し、水漏れがないか確認する 部品の劣化摩耗などによる水漏れが発見できず、家財などをめらすおそれがあります。	

使用中にホースが外れた場合の注意

- 開閉ハンドルを閉めて**、緊急止水弁の先端をタオルなどで押さえてつまみ、上下(前後)左右に動かしながらか押し込み、湯を抜いてから給湯ホースを取り付けます。



注 熱湯が出る場合がありますので注意してください。

- 水圧が高くレバーが押せない場合は、継手部をゆるめてから湯を抜きます。
その後、必ず継手部を取り付けてください。

商品のお問い合わせは…	TEL ☎ 0120-03-1010
TOTO(株) お客様相談室へ	FAX ☎ 0120-09-1010

修理のご用命は…	TEL ☎ 0120-1010-05
TOTOメンテナンス(株)	FAX ☎ 0120-1010-02
修理受付センターへ	

交換部品・別売品のご購入は…	TEL ☎ 0120-8282-55
TOTOメンテナンス(株)	FAX ☎ 0120-8272-99
TOTOパーツセンターへ	

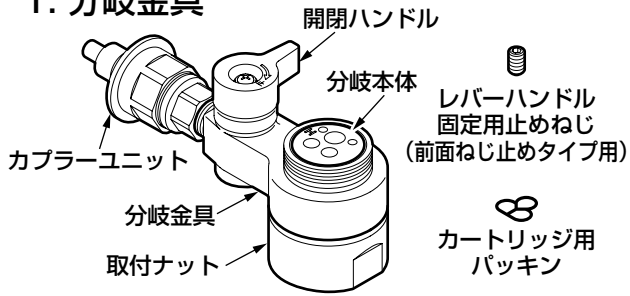
TOTOホームページ <http://www.toto.co.jp/>

裏面へつづく

部品の確認

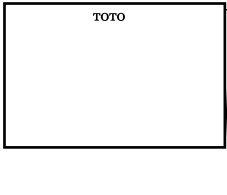
次の部品があることを確認してください。

1. 分岐金具



※水栓の品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。

2. 施工説明書



1 水道メーターの止水栓またはバルブを閉める。

注 水栓から水が出ないことを確認してください。



2 レバーハンドルを取り外す。

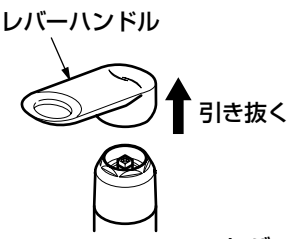
注 レバーハンドルのタイプに注意して、そのタイプに応じた要領で取り外してください。

ワンタッチアダプタータイプ

前面ねじ止めタイプ

上面ねじ止めタイプ

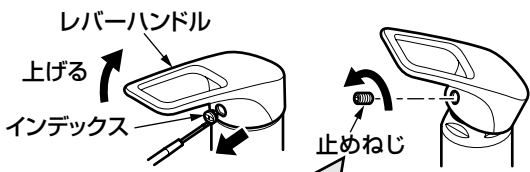
①レバーハンドルを上引き抜く。



①レバーハンドル正面のインデックスを先の細いマイナスドライバーなどで取り外す。

②レバーハンドルを上げる。

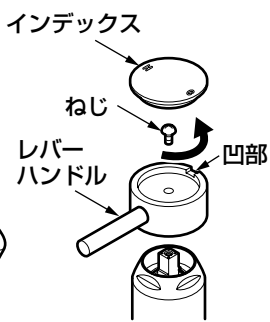
③インデックスを外した穴の奥にある止めねじを、プラスドライバーまたは六角棒レンチ(対辺3mm)で取り外し、レバーハンドルを上方向へ引き抜く。



プラスねじと六角ねじ(対辺3mm)があります。それぞれに合った工具をご使用ください。

①レバーハンドルの凹部にマイナスドライバーを差し込み、インデックスを外す。

②ねじをゆるめてレバーハンドルを外す。

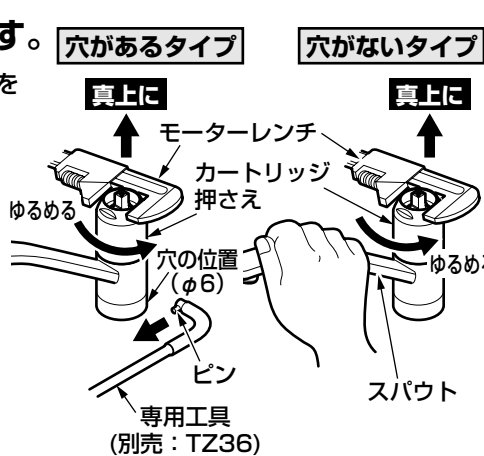


3 カートリッジ押さえを取り外す。

モーターレンチなどでカートリッジ押さえをゆるめて取り外す。

注 ●水栓が回らないように固定して取り外してください。本体真後ろに穴(φ6)があるタイプは、専用工具(別売:TZ36)で水栓を固定してください。本体真後ろに穴がないタイプは、スパウトを持って水栓を固定してください。水栓が回ると、配管部が破損し、水漏れのおそれがあります。

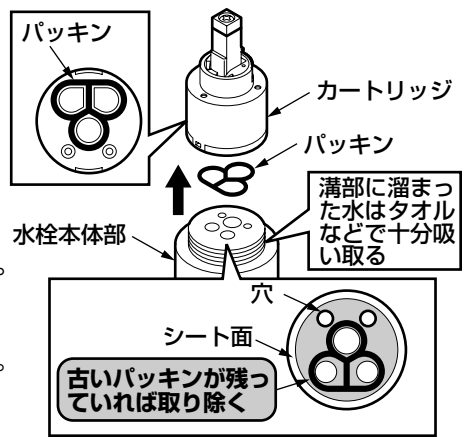
●カートリッジ押さえは真上に取り外してください。カートリッジが落下するおそれがあります。



4 カートリッジを取り外す。

①カートリッジを取り外す。
②カートリッジ下面のパッキンを取り除く。
※場合によっては、パッキンが水栓本体のシート面に残っていることがあります。残っていれば確実に取り除いてください。

注 カートリッジを取り外したあと、分岐金具を取り付ける前に水栓側(面、溝)の水や汚れを十分にふき取ってください。



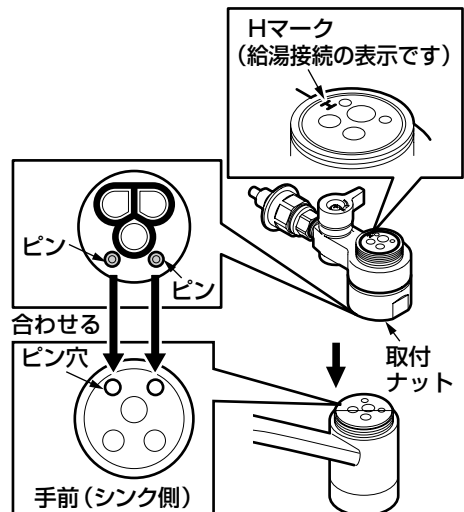
5 分岐金具を取り付ける。

分岐本体のピンを水栓のピン穴と合うようにはめ込み、取付ナットを仮締める。

注 ●分岐金具の上部にHのマークがあることを確かめてください。(給水接続の場合はCのマーク)

●分岐金具の下部にパッキンが付いていることを確かめてください。

●分岐金具を回した際、分岐本体が共回りしないか確認してください。回る場合は、①からやり直してください。

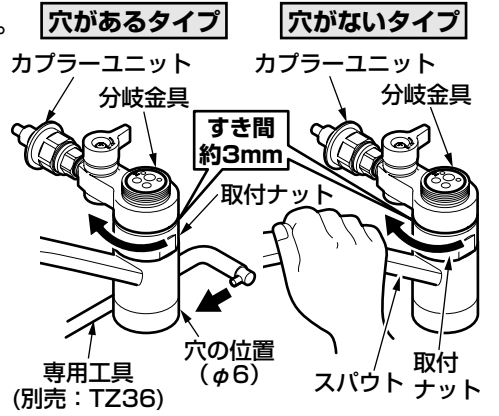


6 給湯ホースの取り出し方向を決める。

取り出し方向は360°自由に取り出せます。

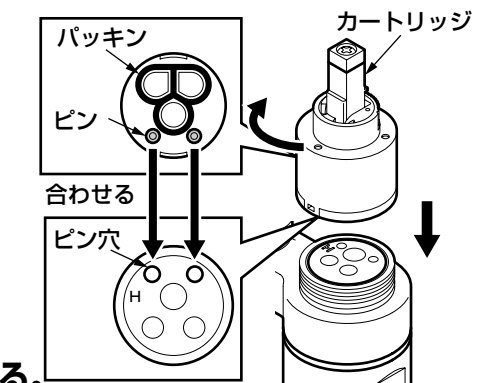
①分岐本体を手で押さえながら分岐金具のカブラーユニットを食器洗い機設置方向に向ける。
②取付ナットを工具にて確実に締め込む。
※締め込み後、取付ナットの上部にすき間が約3mmできます。

注 水栓が回らないように固定して締め込んでください。本体真後ろに穴(φ6)があるタイプは、専用工具(別売:TZ36)で水栓を固定してください。本体真後ろに穴がないタイプは、スパウトを持って水栓を固定してください。水栓が回ると、配管部が破損し、水漏れのおそれがあります。



7 カートリッジを組み込む。

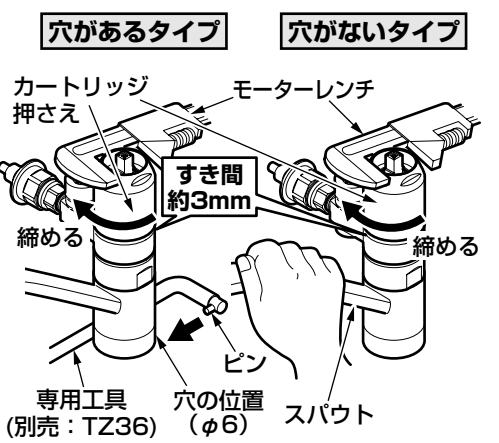
①同梱のカートリッジ用パッキンをカートリッジの下部に組み込む。
②カートリッジの下部のピンと水栓のピン穴を合わせて押し込む。



8 カートリッジ押さえを取り付ける。

モーターレンチなどでカートリッジ押さえを確実に締め込む。
※締め込み後、カートリッジ押さえの下部にすき間が約3mmできます。

注 水栓が回らないように固定して締め込んでください。本体真後ろに穴(φ6)があるタイプは、専用工具(別売:TZ36)で水栓を固定してください。本体真後ろに穴がないタイプは、スパウトを持って水栓を固定してください。水栓が回ると、配管部が破損し、水漏れのおそれがあります。

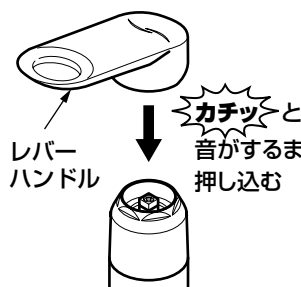


9 レバーハンドルを取り付ける。

注 レバーハンドルのタイプに注意して、そのタイプに応じた要領で取り付けてください。

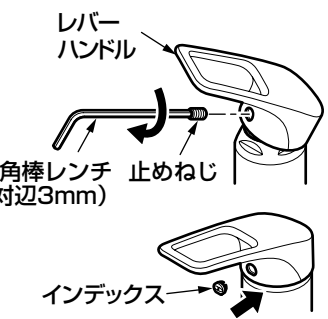
ワンタッチアダプタータイプ

①レバーハンドルの方向に注意し、カチッと音がするまで強く確実に押し込む。
②レバーハンドルが容易に抜けられないことを確認する。



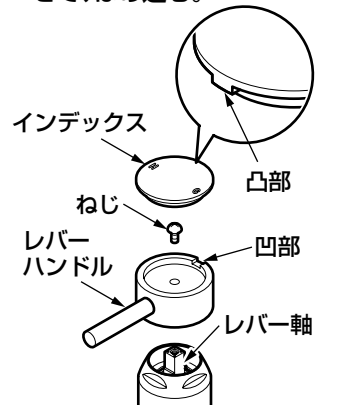
前面ねじ止めタイプ

①レバーハンドルの方向に注意し、水栓本体に取り付ける。
②レバーハンドル正面の穴から同梱の止めねじ(赤い接着剤付き)を六角棒レンチ(対辺3mm)で締め付ける。
③方向に注意してインデックスをはめ込む。



上面ねじ止めタイプ

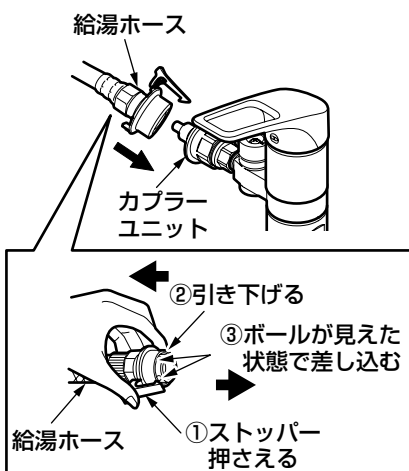
①レバーハンドルをレバー軸に差し込み、ねじで固定する。
②インデックスの凸部とレバーハンドルの凹部を合わせて、はめ込む。



10 給湯ホースを接続する。

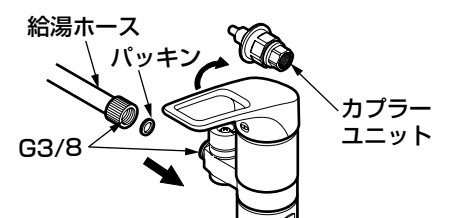
給湯ホースの接続仕様に合わせて、給湯ホースを接続する。

カブラー接続の場合



G3/8ねじ接続の場合

カブラーユニットを外して給湯ホースをねじ込んで接続してください。



注 パッキンの付け忘れにご注意ください。